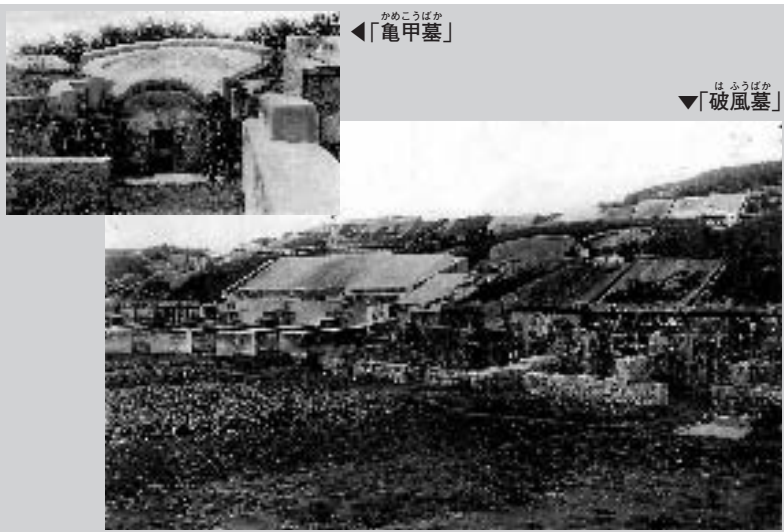




お墓の造営と清明

歴史博物館企画コーナー展示
「清明祭とお墓」展

お墓の造営は、初めは丘陵・崖下、海辺を利用し、そこに横穴を掘る「掘り込み式墓」を作るのが一般的で、そこから次第に屋根を葺き、周囲を取り囲む「破風墓」、さらに「亀甲墓」へと発展しました。

1809年に出来た「田地奉行規模帳」という史料には墓の立地や大きさなどとともに、お墓を造営する際は居住地・農作業に影響のない荒地・丘陵などの場所を購入し墓を作るよう規制しています。

お墓の中(墓室)には遺骸、そして洗骨後の遺骨を入れる沖縄独特の「厨子甕」が納められました。首里・那覇を中心とする土族社会では、墓室が厨子甕で一杯になるとそのお墓は閉じ、新たなお墓を購入、または造営します。この時閉じたお墓を「神御墓」、新たなお墓を「当世墓」といいます。

4月上旬から中旬にかけての「清明」の季節になると、最初は遠い先祖が眠っている「神御墓」や本家の墓、ゆかりの地を巡る「神御清明」が行われ、その後自分たちのお墓「当世墓」で清明祭「家の清明」が行われます。本来なら清明の期間(2週間余り)にいくつかのお墓を巡る事になるので、都合によっては「流れ清明」といつて5月10日(土)「清明祭」が行われることもあります。

展示中の5月10日(土)午後2時から、沖縄の民俗行事に詳しい崎間麗進先生を迎え、「沖縄の行事・法事あれこれ」と題し、ギャラリートークを開催します。

■那覇市歴史博物館
パレットくもじ4階
869-5266

那覇市歴史博物館
那覇の歴史・文化を体感!

“沖縄から世界へ”



私たちは、“沖縄かりゆしFC”を応援します。

外為どっとコムは2008年2月より、沖縄かりゆしFCのメインスポンサーになりました。今後、選手の技能向上を含む同FCの運営を全面的に支援するほか、同FC所属の選手による地元・沖縄でのサッカー教室などの地域密着型イベントへの協賛を通じて、沖縄県民のみならず愛されるチーム作りに寄与してまいります。

詳しくは Webサイトへ <http://www.gaitame.com> 外為どっとコム 検索

外国為替をもっと身近に

外為どっとコム

お問い合わせセンター 携帯・PHS からもOK 0120-430-225

(月曜日 朝7:00～土曜日 朝6:00までの24時間 土・日を除く)

株式会社外為どっとコム 金融商品取引業者 登録番号:関東財務局長(金商)第262号



4月3日のシーサーの日を全国に発信!! ～第7回「壺屋でシーサーの日」開催～

4月3日の「シーサーの日」をやちむんシーサーの発祥地・壺屋から全国に発信し、町おこしにもつなげようと、「壺屋でシーサーの日」のイベントが、壺屋焼物博物館を中心に4月3日から6日まで行われました。

期間中壺屋焼物博物館の3階展示室では、「壺屋のシーサー陶工展」が開催され、多くの市民、観光客が様々なシーサーを愉しみました。ほかに、壺屋の史跡を訪ねる「壺屋まいい」、やちむんシーサー体験教室など多くの催しがありました。



ドキドキの1年生! ～平成20年度入学式～

4月8日(火)、市内36の小学校で一斉に平成20年度の入学式が行われました。入学式では、父母や在校生の盛大な拍手に迎えられて、希望で胸を膨らませた新1年生が、堂々と入場し、緊張した面持ちながらも、校長先生の話を背筋をピンとのばしてしっかりと聞いていました。

保護者は、子どもの成長を実感するとともに、晴れの舞台での姿を記録しようと一生懸命ビデオやカメラを撮っていました。



緑豊かな「憩いの広場」へ ～最終処分場跡地1万本植樹～

那覇市最終処分場跡地に、1万本の木々を植樹して緑豊かな森へと再生し「憩いの広場」にしようと、約1,200名のボランティアが参加した植樹活動が4月5日(土)、同跡地で行われました。

これは、琉球ジャスコの創立30周年を記念して行われたもので、同社の呼びかけで参加した多くの親子連れや子どもたちが、アカギやイペーなど25種類の木を、緑豊かな森へと成長するよう願いを込めて1本1本丁寧に植樹していきましました。



波間に輝くこどもたちの笑顔 ～2008年波の上ビーチ海開き～

4月6日(日)初夏を思わせる日差しの下、今年も波の上ビーチ海開きが行われ、たくさん子どもたちが参加しました。上山中学校吹奏楽部のみなさんのファンファーレの合図とともに、待ってました!とばかりに、子どもたちが一斉に海に駆け出し、初泳ぎを楽しみました。

まだ水は少し冷たかったものの、海水浴だけでなく、宝探しゲームや、うなぎのつかみどりなどのイベントに参加する元気いっぱい子どもたちで賑わっていました。